木

松

年頭にあたりて

(1) 特に私は村長就任以来はじ めて迎えるお正月でありま 数多くの諸施策に思いを廻 の整備強化、耳川綜合開発 希望が胸にあふれてまいり がその成果のあがることを 業道路の開さく等をはじめ めぐつての諸問題、土木産 施設の拡充強化、農業団体 ます。連年来襲した台風に らすとき私はこれ等の問題 ので、さまざまの思いや 伴う東郷余瀬ダム建設を 健全財政の確立、教育 産業の振

東 処であります。 何時の新年にも繰返すこと から次にわいて来るもので しくなり、新しい希望が次 お互何んとなく気持が新 はあるが新年を迎えます

しおらが春。 東郷村議会議長

謹みて新年の賀辞を申上げ ます。万作と云うほどでな 年頭に浮んで消えた泡沫の

年でもあつた。国会に於 統一が成り、二大政党の対でも保守合同、革新政党の 新な首長議会が生まれたが の選挙が行われて、本村も 一
こまである。
昨年は各種

作の年だと称えられたけ を確実に片付け、越年をし

して、

一赤字は解消されない。こう 一れど昨年だけでは尚今迄の 受する事で諦められない。 気分に酔えないのである。 見出すのである。又一方感 てて、経営理想に近附く事 私はやはり抜本的対策を立 産業の大案たる農村経済を 台風銀座の経路にある本村 考えると、やつばり豊年の ぜられることは、複雑化す が急務だと思う。兹に又、 経済振興対策の主要課題を 宿命的災禍として甘

昭和三十年を送り、こゝに 迎えますことは村民の皆様 年改まつて明るい希望に満 らた昭和三十一年の新春を一ながらこれ等の諸施策も村 多忙に明け多忙に暮れた一念ずると共に一層の責任と 東郷村長 黒

と共に誠に喜びに堪えない 民の皆様方の御協力がなく えるのであります。しかし 勇気がわいて来るのをおぼ

美 に努力する覚悟であります 私はこの新しい年が本村を 結と協同一致の体勢の下で ますが、愛村の熱意にもえ はありません。 祈念し、明るい「村」作り して輝しい年になることを る村民各位の一糸乱れぬ団 年の前途は多難を予想され 昭和三十一

文化の動脈をして、関係町 改修の施設であるが、産業進であり、林道農道の保全 災害が、再生産の禍根とし 本村財政の所感である。 ない。次に申述べたい事は かに復旧を企図せねばなら て残骸を横え、村民経済を 村と共に速やかに価値ある 々津仲の原線国道の改修促 大きく揺すぶつている。速 ものとしたい。更に既往の

誓へや

そめたる

何やらむ事あるごとき気おくれを年たつごとに覚え

あわただしき歳かさね来ついま迎ふる今年はいか

あらむとすらむ

年ごとにわが重ね来し悔なるを今年はすまじせじと

されつゝあるが、今成長の するが、反面本村の場合累 綜合すれば、稍々好転のき 論国庫予算に左右される事 により美林の造成は着々成 源漸く枯渇の段階に入りつ 年の災害と各種施設に伴う ざしが感ぜられ、意を強う に亘る経続造林計画の推進 ゝある。御承知の通り、多年 経費の充足により、蓄積財 は当然であるが、各種情報

昭 和三十 年 元 日

ては到底達成されるもので を問わず最善の努力が成さ の基本的問題である以上、ても、生産と消費とは経済 を欲する事に皈一する。人 生産の向上と共に消費の合 れねばならない。此の見地 其の場にあると然らざると 段階である以上、能う限り 間練成の聖業であり、其の うけれども、要はよき教育 によって感度の相違はあろ 要を今程痛感したことを知 現状は視

最早己々たる論争に提ると

峻厳なる現実に対決闘争を は、既定方針を堅持し愈々

展開せんとするものである

とを止め、近き将来に懸く

衷心より御寿申上げます。 昭和三十一年の新春を迎え

が平和な村となりますためべきと思います。私達の村

完納と農協再建に力を尽す

ばれている入郷線国道、美として最も強調したい。次に交通について久しい間叫に交通について久しい間叫 施設の完備充実を朝したいに立つ我々は教育の基盤に 此事は過去も其の方針を遂 が是正を祈念する余り国保 制度を実現し、併せて直診一る是等の事実に眼を反ける 医療になやみ続けたので之 等しき不安の状態久しく、 る次第である。 待を抱く一人である。過去 私は本村の将来に大なる期 に於ての本村は、無医村に

なさるれ

明けてわが四十といへる歳の数をかしきものに思ひ

新

年 述

懷

妆

水

にも。

村会議員

松原千三郎

を解消しつゝあるが、是は施設を開所し、着々此不安 の重要性に鑑み健康にして 体位の向上を念願し、勤労 基より思付きや体裁ではな い。真に生命の尊重と村民

新

名

岩

事を前型とし、今日より其 の対策を必要とするのでは 来財源の空間部を予想する 所あれども、現在利用の域 に配するに、木材糖 開発による物資の集散を呑 次第である。次に私は本村 実現に一大奮起を切望する 多き東郷村を永遠に打ち立 現の暁を想う時、今又建設 平和な村民を抱擁する希望 の日向市に在り、魚地資源 貫国道計画である。是が実 綜合開発であり、九州中央 べたが、其の理由は東九州 の将来に期待を懸けると述 此真意を諒とせられ、是が でもある。具眼の各位希ば つる道であり、本村の理想 途上にある竹島臨港工業港 山脈の開発を目途とする縦

同につき、大いに伸ぶ年と 御協力を希望し、その幸福 度を通ずる所信の一聯であ て雑多の筆を稿したが本年 ある。吾々は小我をすて大 本村の将来は将に昭和三十 のが多いが、社会の進展は て新年の御挨拶とする次第 組み、議会本来の使命を果 したい。以上年頭所感とし 彼様な事に左右されない るとの消極的見解に立つも 猿年と云い、好事皆逃げ り、執行部と共に勇敢に取 と本村将来の発展を祈念 したい。村民各位の鞭撻と 年に架かる希望多き年

り数多くの希望が湧いてき さわやかな新春の訪れに当 民の最大の福祉の一めに時ますが、今年こそは我々村 村会議員 海野 竹雄

**^只
税事務所 ^長**

東小六年

高小

森林

亮憲

ことなく、先づ内に力を蓄 の石も取つて持つて吾が とする意気を必要とする。 是を要するに本年の干支は

が確立するものと信じます 御互に感謝の二字を有意義 和なり、和は感謝であり、 を期待いたします。豊富は 御努力を払い、以つて一家 にも必や明朗な本村の存在 て将来の経済振興に格段の 祈念いたしま に履行するならば、精神的 一村の為に結実されんこと 頭に当り村民の御多幸を して私の所感

内の未利用原野が青いクロ と牧草は堆肥団子の中から 良に手をつけて三年、点々 に寝そべつている。牧野改 暖かい新春の日ざしを浴び その仕事に身を任せつく、 の仕事に益々喜びを感じ、 て見たい。 自分をじりじりと、伸ば 仲深公民館長

て牛どもは放牧場の草の上 い芽を延ばし始めた。村 三郎

過去を顧みます時に次々の 災危の後は幸もあると信じ ます。斯る不遇より脱却致 とを御推察仕ります。而乍 苦は一人のものであつたこ 災害に重圧され、村民の労 すべく隠忍持久の精神力に

納稅思想啓蒙作品入選者

歳でありますように。 よい。台風のこない稔りのあつさり人間を返上したが の成長を自覚し得ないなら 東郷小学校長 平田

その中で気持よく努力して 沢山残つている。今年はそ私には、去年からの仕事が を募集、多

全知事賞 日向県税事務所長賞 日向県税事務所長賞

内中小学校生徒児童の作品 先般、日向県税事務所では ら、本村は左記の通り各種を募集、多数応募者の中か (作文、習字、ポスター) 種 は 目に入選して、晴れの知事種 績を挙げて貰い度いものではある。 坪 寺 寺 寺 坪 坪 小小小小小小 三五六六一六 年 年 年 年 年 年 東小六年 東小五年 石篠橋橋い坂坂 黒森吉 川崎口口だ口口 木 野 と祥禧子子久 祐正邦克は佳由 る 士雄洋義を夫子

昭和三十一年の新春を迎え 万村民と共に美しい平和 福瀬小学校長

12

真に人間らしい生活、今年 重要な懸案の早期解決を迫 る。年々歳々何がしかの心 経営をしたいものと祈念す を払い度いと念願して居ま 実績向上の為に格段の努力 られて居ますが、経済振興 な村史を築く可く努力し度 てそは充実した悔なき学校 いと思います。村政も幾多 平三郎

抱負も生まれません。年がお正月が来ても別に変つた がたの、いや特に東郷村のがたの、いや特に東郷村の 未熟な私の作品も今年はいでとうございます。去年の東郷村のみなさん新年おめ に一、炎え、そして哀しむ べきものにしたく私はさら ぜか私には温かい体臭を感いつも淋しい村ですが、な ことでしよう。 じさせてくれます。

現を考慮すべき時が来る。 を期する上に入郷鉄道の実 合、本村の上に及ぶ影響も 実現が期待される。此の場 尚、以上の事実をして愈々 吾々は奥地資源開発の完壁 があろう。 頭に想

昭和31年1月15日

発 行 所

役場

なかろうか。この事から考

えても、今日税収の予期せ

場の林立し、一大工業都の 誘致の実現せんか。附帯工

宮崎県東臼杵郡

^{株式} 安 藤 印 刷 所 64番

> 目下昭和三十一年度予算編 に協力を望むものである。

り、村民福祉の為滯納一掃 ざる欠陥は極めて危険であ

又甚大なるもの

人々がある。 る者丈が僅かについて行く 絶えざる努力と研讃を続け ている現在、順次落伍する 全世界が著しい発達を続け 上田 健一郎

村会議員三尾

村会議員

あろう。是が対策について

愈々最終段階に突入するで

生きる為には個人も集団に 思えば恐ろしい世の中だが も安易程恐ろしいものはな

かに議決し、洋々たる村政 の大綱を余す処なく解剖速

の将来を確立せん事を期す

最後に耳川水系電源開発も

そ是等諸問題解決の鍵であ られ日向工業都市の実現と により、一層の拍車が加え可能とする渡川発電の完成

東郷診療所長

る議会に提出、審議の日も

公正なる見地に立ち、是を

遠からずと思う。議会、又

是とし、非を非とし本年度

の構想が真剣に練られ、来

間を有効に使い役場、 村民の協和が時代を革する 村会議員 議会

> 来るような話。何を措いて てそは残りの校舎改築が出 一年間足踏をしたが、今年 は本 信

寺泊

山小学校長

があわれである。※希うと頂かないと旧校舎の児童達 も、このことだけはやつて

り。しかし、何一つとして 議員の一人となった。あれ 大なる希望と抱負を抱いて **原子力ともなつて村の進展** りたいものだ。 はさて置いても、小さな事 実現出来ず、残念な旧年だ の一つでも年と共に偉くな もこれもとやりたい事ばか 芳雄

と多かれ合

年先ずと指折る

ました。今年こそ、税金の 年であれかしと祈りました 何かしら心温まる思いがし 一九五六年を迎え、幸多き 初詣でに多くの学生を見て マルなことですが、社会の 人が皆、自分の本分を自覚 することが大切だと思いま の 野 新 分を守らな を乱すて、 に深入りしたり、自己の本す。必要以上に他人の領分 は校舎改築 東郷中学校長 のとと

本年はこうした事を村民がものだと思います。
が名中学校長 とでしようか。 かつたりするこ け世の中の秩序 坂口

較水先生の歌のように坪谷 較のおくにわれのうまれし 村はひつそりとしていて、 おもひやるかのうす青き 坪谷郵便局勤務 若林

る団体で有り、又家庭と連ての人から愛され信頼され 結した団体であります様に ーとして進み度いと存じま 親愛と誠実を団体のモット ように御祈り致します。

道はたゞ一つ人間の生きる 拓かれなければならない。かも素手で、手さぐりでー 皆様方の幸多き年で有りま 明けまして御目出度う御座 います。新春を迎えまして 一つである。生きるという 人間の共通の願いは、たゞ 村婦協長 塩月みどり 坪谷小学校長 等で割合に現金の動く、盆

税金が納税者(滯納者を含

題が多数でてきます。往古会だけでは解決できない問

々数千町歩の耕地を失うと

発達と都市の膨張により年

人の人口自然増加と工業の

と違い自分独り或は地域社

に於ては一地方には食糧が

めての)えの福祉施設とな

余つて

いるのに他の地方で

十数年後には現在不足して

不足することになりますのいる食糧と同程度の食糧が

は飢餓に襲われた事例は数

機関の発達により私達の住 限りなくありましたが交通

で十数年後には四、

らないので常に強制処分等 の滯納を一掃しなければな

期内に完納された納税者と くもない延滞金の徴収も納

に於ける自給自足経済時代輸送の制限を受け一小地域

も一面では年々一三〇余万糧を海外に仰ぎつゝあり而

れては経営の改善はあり得 のが経営であつて経済を離 業技術と経済が交錯したも 口に言うと農業経営とは農

に大きく響いてきます。

ない。昔日のように交通や

五年

はどんなものでしよう。一 ばれていますが農業経営と

凶が直ちに米作に影響し、

農業経営の改善が大きく叫しになってきました

小林憲

一、考え方

の区別から、或は納付した

6行つていますが特に農家

止月前の節期に庁内全力を

挙げて一齊村税徴収を実施

て参つたのでありま

ますので村税完納につい

という面から我々その職に とからもいわゆる納税秩序 つて還元される、というこ

本年も今迄同様実施し

は、八〇%になつていなけ 末日までで本村の納税成績

税金であるといつても過言

ではないと思うのでありま

農業経営の

ります。いうなれば政治の

由に出来得るのも税金であ に約束した政策の実行が自

> お願い申し上げます。 収に特段の御協力方重ねて

い変えるならば去る十二月 納期が到来しています。言

めには先づどうしても今迄

も、日歩三夷という余り安

する財産差押等の

強制処分

後十年の歩みを省みて今後 五六年を迎えるに当つて戦

のないように心掛けましよ 計を加え将来の発展に遺憾

では私達の営む農業も世

の農業の在り方について研

切であります。帯納者に対秩序ということが非常に大

とがありますが、納税には「物事には順序」というこ

方向についての考察

て納期内に納付して頂くた りますのでこれを何とかい 六年間毎年同様の数字であ

けのことではなく、過去五 りません。これは本年度だ

から五二%にしか達してお

ありますが、実績は残念な ればならないということで つた機関でも徴収

年度の村税も昨冬十二月ま

発展の為という原則の上に

(勿論、公共の福祉の向

は村報から永久に追放した

いものです。旧年末村税徴

である) 公選首長が選挙民

でで年間税額の約八〇%は

又然り、であつて昭和三十

が定められています。村税 がつくものには、全部納期

金もおよそ税金という名

何処の機関が取り扱

で、四日間毎月村

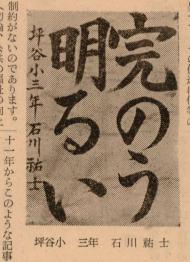
なければならないのであ

この記事の見出しを御覧にみになる村民の皆さんは、 つて或る一つの事柄に気 、二月八日から十一日ま 強くお願いをする次第であ 達の為にのみ使用される。 ります。 いうまでもなく、

異つて、その使途に何等の一んか。そして新しい昭和三 然も税金は他の補助金等とら一掃しようではありませ 皆さんによつて納められた一ますが、先づ滯納村税を納

であることも承知しており 滯納村税は我々の東郷村か めて下さい。これを機会に が、この月は各家庭におい 以下全職員で実施します ては、色々と出費の嵩む月 ら十一日まで四日間、 旧年末徴収は、二月八日か

石川祐士 三年



御承知の通り税金はひとり

のみが徴収してゐるの なく国県とそれぞれ異

いう現象であります。 も大きく掲載されてゐる こ旧盆前に必ず村税の滞納

を出品し五〇頭中優等賞を 初の肉牛共進会とせり市が 初の肉牛共進会とせり市が 祈り楽し一日を過ごした。 催鹿瀬川原に畜産の将来を 共に家族総出の畜産祭り開 肉牛共進会開催

の御奮斗を御期待致します次回は三月二十日です皆様初の催しに面目を施した。 見事東郷畜産の花を咲かせ 獲得せり市に於て最高一二 を待つて居ります 行事が皆様の御奮斗

の出場を期待して居ります毎百管理に努力され立派な 飼育管理に努力され立派な毎の仔牛検査とせり市充分 本年度も県共進会が開催さ

成容を示したいと存じますい今年こそ再び東郷畜産のい今年こそ再び東郷畜産のい今年こそ再び東郷畜産のいの一様では、

月十七日に親子牛と 表である鹿瀬部落で 畜産便り

国家予算の編成は困難とな を食糧需給面に振り向けな 於ても現状の国民所得であ されているので十数年後に 込まれることになり勢い重 ければならない状況に追い りますので総予算の半以上 れば一兆円を大きく上廻る れることになります。

> 努力しなければなりませ が揃つて取り入れることに

の人々と良く話し合つて皆 指導者と話合いの上隣近所 ことが重要でありますから れる程度に生産物がまとま 地域的に特産として認めら

件となります。

特に生産物 必須条

ると言う団結の

るように集団して栽培する

が遠ければ遠い程結束の力

世界農業の動向が直接一人

難となります。

てゝに初めて技術者の必要

せん従つて経営の改善は困 域には優秀な産業は起りま れて来ますので和のない地 の偉大さがはつきりと現わ

一人の経営に影響を及ぼす

現在の農業では謂る抜がけ

を中心に改善の計画を樹立性が大きく浮び上り指導者

次の通り

しなければなりません。

(つどく)

を果してきた甘藷が砂糖の 備荒作物として重要な役割 要事業の圧縮を余儀なくさ 輸入制限徹廃により大きい では経営の改善は出来ませ の巧名をするような考え方

ん。近隣と共に栄え発展す

装備と訓練に

威容を加えた消防始式

て表彰を受ける部

第十部

日向支部長表彰

元日……

第三部長

奈須 石田辰 雄 雄

今年の色が落ちて光つてい 窓辺越に見える山々の緑にすべてはしようのうくさく

る

日向支部長より部とし

喜怒哀楽の回顧をなつかし

村長表彰長

製バターが路農地帯をおび、大の輸出と需要面を圧迫し 業は世界農業の消長に直 に電熱機の普及と化学燃料 圧縮しつゝあるように私達ある木炭の需要を年と共に の普及は山村の重要産物で やかしつゝある等私達の たり、化学繊維の発達は生 り北アフリカに於ける本邦 とが経営面に数多く秘めら 大きな影響を受けている外 維作物が危機に追い込まれ マニラ麻の復興によつて繊 格の下落を来し、戦災から 茶の重要市場は浸喰され内 圧迫し、中共茶の進出によ 消費量を有する澱粉工業を えの振向けにより製茶価

の地域社会で他の地域の生 産が自分の農業経営に大き 経営の改善には経済が大き ばなりません。 な要素として含まれている れている点をよく考察して 経営の合理化に努めなけれ

米国やカナダ、オーストラ 年々二、〇〇〇万石余の食 リヤの麦作が又私達の農業 各国の生産が直ちに大きな 加州や東南アジャの米の豊 農業も世界的な考慮が必要 な影響を与えたように現在 影響をもたらすようになり 成についても研討して経済 備しなければなりません。 を払い販売経路、価格の構 場の嗜好を察知すると共に 生産物の処理を有利に展開 な結束によつてカバーして 力に弱い農村の弱点を強固 生産物の処理に対して考慮 ので他の生産地の動向と市 することができる態勢を整

り入れることは勿論であり 自分に応じた経営形態を取 と労働能力をよく考慮して 属している地域の立地条件 てはなりません。自分の所 で技術的に見て無理があ 討が必要となってきます でありますから技術面の研 が上手に組合せられること 経営の改善は技術と経済と

で参観する村民にも年々向 く団を点検する黒木村長も との気慨の程を発揮したの 水試験器具の点検及び最後 激励し厳正なる示達を与え 終始熱心に緊張した団員を と出初式の意義をくみとつ における平和の戦士である の分列式まで我こそは郷土 る指揮統制のもとに操練発 年始めて点検長として親し 一方団員も団長以下整然た しつつある本村の消防力

8 力の一部面を公開した。引 よつて行い機械化消防の威レーハツポンプ三五馬力とに し ポンプを先頭に分列行進をなり一段とその壮麗さを加 検長の講評。表彰式等が行 年度より二台増しの十台と 当日の成績は次の通り 開始中央に集合成績発表点 つづき行つた一齊放水も昨



年度の消防始式は其の趣旨 る意味に於いて昭和三十一 るにあると考えられます斯 公開し村民の理解を高めし 第六部の模範操法を始め水しても本村消防力の一切を 県消防操法大会に出場した求めると共に他面村民に対 法も加味した外更に第四回 防戦術に深い考察と反省を 機械化消防に至つた歴史的 年のながきに亘る本村消防 に副うよう企画されたが本 め更に防火の念を起さしむ 消防組織の精神と装備と消 し消防から今日の予防消防 の伝統を守り曽つての火消 消防始式の意義は六十余一て頂くことができたものと 利不便の遠距離火災に必要 とする中継送水の要領を昨 とする中継送水の要領を昨 購入した第八部の可搬式ト 消火活動における場合の方 とり入れ発水試験も実際の 式に消防訓練礼式の方法を 前八時より今までの点検方 消防始式の行事としては午 ンプと同じく昨年十二月に

黒木行男 開

吉寺原 佐 関野 宗 寿 東 早 見

音楽のよう

に子らがわざめ

春木熊夫

開かれゆく銀製のページよ新らしき息吹の中を

吹の中を

△鏡に向つて自分の顔を眺

運命のよう でれらの一

がひろがる

幅の童画から

ます。昨年来「新生活運動」 民生活 0

△今年は一つ心を新にして

ずかしい次第です。

りなさを情けなく思いはい。今更ながら修養の足

とれる顔とは受けとれな めるとどう見ても責任の

活をなごやかにし、社会をらしい気分を味わせ家庭生 を愛する心は色々な事で養 が、若しこの世から慣習のに生きる」と申しています ものがあると思います。 習は我国ではずつと古からて産土の神に初詣でする慣 行事のもつよい慣習によつ われるでしようが日本的な 吾々の日々の生活はまことします。今年も昨年に引きつ に殺風景なものとなるでし 明るくしているか、その力 よう。祖国を想う心や郷土 すべてを取り除きましたら は測り知ることの出来ない 伝え来た風習であり、まし て培かわれる面のあること 誰かが「人間は慣習の中 れ、生活の気 素化の名の ゾいて「新生活運動」を強 力に展開しなければならぬ 見、いかに考えるか」がそ新生活運動は「いかに物を 地位にあるものは深く戒心 が「角を矯めて牛を殺す」 く」ことであると思つてい 実際面としては「むだを省 の根底に流れる心であつて を培つて来た日本的な慣習 の愚になら ことではありますまいか。 大いに慎しまねばならな までも取り去られることは あたら何千年来日本人の心 はよろこば て着々実践 ればならぬと年頭に ねように指導の 下に抹殺されて されていること かも簡素化、簡 しい事でありま 簡素化が叫ばれ て反省が促がさ たしています。 のです。 責任のもてる顔の持ち主 となるよう努力したいも

△新春を迎え村内各層の方 △干支によると今年は丙申 加わつて四猿主義になっかごろは「行わさる」がかごろは「行わさる」が たゞいて感謝いたしていたから年頭所感を多数い 申しますと共に本年も ます。紙上で厚く御礼を 年は貧乏神のさる年にし 言い、大いに行つてさる の年だそうだ。 さる」 「言さる」 の三猿 落ちる」、「さる知慧」 というと「さるも木から たいものです。 たようですが今年は大い 「村報」の御愛読をお願 「さる真似」などの語が 山里や枯木の枝に初島 一さる」

一、宮崎県知事表彰 三等 第八部 、県消防協会長表彰 二等 第三部 (鎖野内) 当日表彰の栄に浴した者 一等 第八部 等 第九部 (八重原) 標的落下の成績 第八部長 第七部長 第二部長 直野久雄 黒木 学 (小野田) (田野) (鶴野内) 一九五五年 新らしき年が積つた 火鉢に掌をかざし 者 畝原秋義外三十八名 昭和二 三十一年度消防始 坪谷 甲斐 軍時 軍時 て感謝状を受ける 物の後退団するも ゆく時間の中で 日 り表彰を受

若林 博 信

編 後

△明けましておめでとうご △米国のリンカンは「人間 言はれました。 と 「人間生れながらの顔で 時代の文豪森鷗外先生も る」と申しています。明 幸をお祈りいたします。 ざいます。皆さまの御多 四十の顔には責任が

朝早くからしづかにけげし

記

思わぬ災難 伸ばそう農協 無理な貯金が よかつた貯金 無理を含く 殖そう貯金

朝陽をあびてゆこう 足どりもかろく けわしき旅路の 罪悪だ」

「ふりかへることはもはや